

老

唄

妙智寺 寺報 8月 239号

お盆 = 日本人の心のふる里

今年もお盆の季節がやってきます。

暑い夏、先祖さま・亡き父母・忘れるがたき人が懐かしいふる里に帰ってきます。

お盆は帰ってこられた先祖さまの魂を供養する期間です。

そのため多彩な行事が昔から営まれてきました。

「迎え火(妙智寺は8月12日)」「送り火」「精霊流し」

「精霊棚(以下の図で、先祖がその期間おやすみになられる棚)」

「盆踊り」「棚経(妙智寺は8/10~8/15)」「施餓鬼会(妙智寺は8月7日)」等々。

まさに先祖と共に過ごす行事です。

日本人は自分の先祖さまを大切にする国民でありました。

お盆の教え、心、しきたりは連綿と受け継がれ「日本人の心のふる里」となっています。

お盆飾り一例 ※お仏壇の前に以下の棚を設える



自分自身の成仏(成長／幸せ)は先祖や亡き父母を救う

わが「いのち」の源への感謝

お盆(7月・8月ともに)とは、自分と先祖とのつながりを最も強く意識する日。とりわけ8月の月遅れ盆のころは、多くの日本人は仕事を休み、故郷を目指します。(かつては「民族大移動」と称していた)

そして先祖・亡き父母の供養に参加する。

仏典に「父母を救済するは大功德あり。我れ父母を助くるによりて

世々に難なく、自ら成仏をせり」

先祖や亡き父母は、【わが「いのち」の源】であると思い起こし、感謝の誠を捧げるため仕事を休んで仏壇や墓にぬかづく。その功德は甚大で、わが営みにおいて大難が小難に小難が無難になり、幸せ(成仏)を得るのである。

見守る先祖や亡き父母の安心

「自身仏に成らずしては父母をだにも救いがたし(中略)子が色心は父母の遺体なり。子が色心仏になりしかば父母の身もまた仏なりぬ」

宗祖日蓮大聖人

意味:自分自身が仏に成らないでいて、どうして父母を救うことができようか(中略)

子供(子孫)の肉体と精神は、父母が遺してくれたものである。したがって、子の肉体と精神が仏に成ったならば、父母の身もまた同時仏になるのである。

子は何歳になっても子である。逆に親はいつまでも親でいて、いつでもどこでも子を想う。その心「親心」は悦び・感動もあるだろうが、やはり「心配」をするもの。

車の運転で心配したり、仕事で無理をしていないか、身体の健康はetcその親を「安心」させるたるには安全運転を心掛けることや、仕事も健康に留意して頑張ること。

そして、先祖や亡き父母も同様、いまもって「親心」を持ち合わせている。亡き人の「安心」は、亡き人の「成仏」といえる。どうすれば亡き父母の親心にそえるか・・・。「安心」してくれるのか・・・。

子が成長し「幸せ」に過ごすこと

例せば、イライラ腹を立てないで安全運転をするようなものといえまい。亡き父母は、車の運転も安全であれば安心。仕事も一生懸命で順調、身体健康そのものであれば安心するはず。

それには腹を立てない方法や正しい運転法を学ぶことが必須である。

「妙法蓮華経」はそれを救える「真実のことば」である。

心の垢を落とし開運を

7月盆前の恒例の清掃奉仕。墓地・境内・お磨き等々。暑さが心配されたが丁度良い中の作業。夫婦で、親子で、嫁姑で・・・指定の時間不都合な方は早めに。来られなかつた方の墓地も来た方々が、自分の墓地の如く綺麗に。

妙智寺を護る「如来使」(仏さまの使い)を見た。そんな方々の心垢は、キレイになられた。キレイになった墓地や境内の如く、キレイになった心で営む生活は、開運になるのです。

なにはともあれ、感謝です。

ありがとうございました。合掌



★第114回 妙智寺和讃会は

コロナ感染者拡大のため様子をみてご連絡いたします。

7月の妙智寺の様子 月例の回向(訪問型・来山型)は省略

7/3 M家 四十九日忌／総墓納骨

7/10 N家施餓鬼(祥月)

7/10 A家施餓鬼(祥月)

7/10 I・K家施餓鬼(祥月)

7/10 T・S家施餓鬼(祥月2霊)

7/10 T・K家施餓鬼(祥月)

7/10 S・E家施餓鬼(祥月)

7/13~15 七月盆 墓参り／棚経

7/16 T家 家祈祷

7/20 T家 総墓納骨

7/31 H家 個人施餓鬼

7/10 U家施餓鬼(3)

7/10 M家施餓鬼(7月盆)

7/10 T家施餓鬼(祥月)

7/10 T家施餓鬼(祥月)

7/10 N・H家施餓鬼(祥月)

7/10 K家施餓鬼(37)

7/11 T家 新生児百日参り

7/17 K家 車祈祷

7/21 H家 虫払い祈祷

8月 行事予定

□8月 1日（月） 水子供養会 午後2時

□8月 7日（日） 午前10時

お盆月 施餓鬼・鬼子母神祈祷会

□施餓鬼供養（特別供養・経木塔婆）とご祈祷／法話と相談

※来られない方や遠方の方も申し込みます

※供養した塔婆は、12日の盆寺参りにも建立します

◎「地獄絵図」のお話。同封の絵図をご持参ください

□8月 21日（日） 午前7時

月例 唱題行・法話会

□朝参り修行 毎週日曜日 午前7時 法華経28品読誦と法話

※8月14日は休講

8月盆の行事

○8月12日 午後2時 寺参り・墓経

○7日～15日 各家棚経

秋の妙智寺

9月11日(日) 午後2時 月施餓鬼・鬼子母神大縁日



9月25日(日) 午後2時 秋季彼岸会・水子供養

10月9日(日) 午後2時 月施餓鬼会

11月13日(日)午前10時30分 おえしき・月施餓鬼・発育祈禱